

# 「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」ニュース 28

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会  
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階  
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180  
E-Mail [csm-hq@eco-texj.co.jp](mailto:csm-hq@eco-texj.co.jp)  
HP : <http://www.eco-texj.co.jp>

2006年  
8月3日発行

季夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 28号を配信させていただきます。

## 1. 7月6日第23回フォーラムセミナー開催

7月6日に第23回フォーラムセミナーが開催されました。

開催にあたり近藤事務局長の挨拶のあと

- (1) 株式会社レナウンアパレル科学研究所・山本直弘様より<のコンプライアンス及び各種マネージメント導入認証に関する取り組みの事例報告>として、会社概要、業務内容、レナウングループの品質判定制度等の説明に続き、1998年から1999年にかけてのISO9002導入認証取得活動の経過と効果をお話いただき、さらに現在進められているグループ全体でのコンプライアンス体制取り組みについて御報告いただきました。
- (2) <EU視察会・2006年5月>に同行された清水二郎東工大名誉教授より、EU視察報告第2回として、エコテック・ジャパン・ドイツ本部である3p-Consortiumの活動の基調、またスイスMIGROSの歴史とその企業方針及び消費者に密着した業態と品質保証体制、ドイツTUV社の業容について御報告いただきました。また、これらの視察を通じてCSM-2000という包括マネージメントシステムが構築された国際社会の背景と意義についても言及されました。
- (3) 「Sustainable Trade and Innovation Center (STIC)」Japan 開設について近藤事務局長より経過報告がありました。
- (4) <最近のCSR関連情報>として事務局・小山より
  - ① 労働安全衛生法一部改正とGHS方式採用に関する情報
  - ② 「社会的責任(SR)の国際規格ISO26000案の策定進む」  
日経エコロジー7月号から
  - ③ 「RoHS(有害物質使用制限)2006.07.01施行/EUとJ-Moss(特定化学物質含有表示法)/日本」  
日経エコロジー7月号から
- (5) <「CSM®-2000構築の全て」について解説と質疑応答>が今回は下記の分野・要求項目について事務局・佐藤より説明させていただきました。
  - ・システム要求事項：基準の定義/品質保証、環境行動、持続的社会的責任

## 2. 次回、第24回セミナーを9月7日・木曜日14時より開催します。

＜今回のテーマ予定＞

- ① <コンプライアンス及び各種マネジメントシステム導入などの取り組み報告>として株式会社トンボ様の事例発表をいただく予定です。
- ② また<CSR関連最新情報>をお知らせいたします。
- ③ <「CSM®-2000 構築の全て」の解説と質疑応答>を引き続きさせていただきます。前回に続き「システム要求事項：4. 経営資源管理」以降を予定しております。  
(前回まで配布の資料をお手数ですが御持参くださるようお願いいたします。)

皆様ご多忙のことと思いますが、是非ともスケジュールを調整いただき、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

準備の都合もありますので、添付させていただきました「出欠連絡表」を御利用いただき、メール添付またはファックスにて、遅くとも**9月1日金曜日**までにご出席いただける方のお名前お知らせくださるようお願い申し上げます。